

令和5年度～令和6年度（10月時点）の アカガシラカラスバトの保護収容実績

令和5（2023）年度は38個体（うち32個体死亡）、令和6（2024）年年度は17個体（うち10個体死亡）の保護収容があった。最も多い収容原因は人工物衝突、次いで交通事故であった。

表 1 事故原因別保護収容個体数

収容原因	R5(2023)年度		R6(2024)年度(10月時点)		総計
	死亡	生存	死亡	生存	
人工物衝突	5	2	4	2	13
交通事故	12	0	0	0	12
猛禽類による捕食	7	1	1	1	10
誤捕獲	5	0	1	0	6
迷い込み	1	1	1	2	5
ネコによる捕食	0	1	1	2	4
不明衝突	0	1	2	0	3
放棄卵	1	0	0	0	1
不明	1	0	0	0	1
総計	32	6	10	7	54

※複数要因が考えられたものは、各要因1ずつとして計上した。

表 2 島別保護収容個体数

島	R5(2023)年度		R6(2024)年度(10月時点)		総計
	死亡	生存	死亡	生存	
父島	28	6	8	6	48
母島	1	0	2	1	4
南島	1	0	0	0	1
媒島	1	0	0	0	1
総計	31	6	10	7	54

表 3 齢別保護収容個体数

齢	R5(2023)年度		R6(2024)年度(10月時点)		総計
	死亡	生存	死亡	生存	
若鳥	13	1	2	3	19
成鳥	9	2	3	1	15
卵	1	0	1	0	2
不明	8	3	4	3	18
総計	31	6	10	7	54